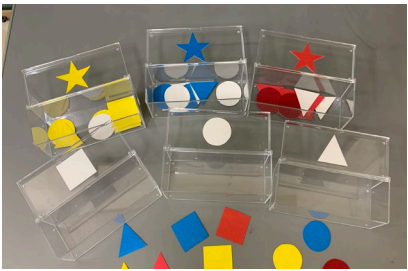
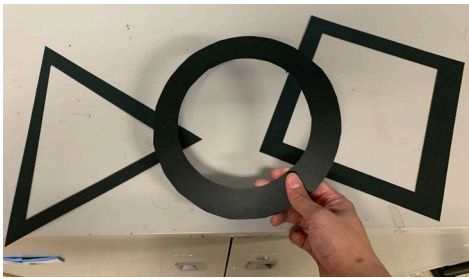


色や形に着目して分類することの指導 ～色板などの教材を使った事例～			
学部・教科	小学部・算数科	事例コード	2 2 1 9
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> 小学部3学年（4名） 分割された絵カードを組み合わせた、「大きい・小さい」の用語が分かり、「大きい物はどっち。」などの用語を聞いて、正しい物を選んだりすることができる。 色の違いが分かり、弁別することができる。12種類程度の型はめができる。 		
単元(題材)名	『なかま集めをしよう』		
学習指導要領の内容	算数科／小学部2段階 B図形 ア ものの分類に関わる数学的活動 (ア) ㉞、(イ) ㉟ イ 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動 (ア) ㉞、(イ) ㉟		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	色や形に着目して分類することができる。【Bア(ア)㉞】 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。【Bイ(ア)㉟】	ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。【Bア(イ)㉟】 身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。【Bイ(イ)㊱】	図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。【小学部2段階B目標ウ】
単元(題材)の計画	総時数8時間 1 同じ形の色板を、色に着目して分類する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間 2 同じ色の色板を、形に着目して分類する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間 3 形や色の違う色板を、色や形に着目して分類する。・・・・・・・・・・2時間 4 身の回りのものを、色や形に着目してなかま集めをする。・・・・・・4時間		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> 同じ形の板を色に着目して分類する活動や、同じ色の板を形ごとに分類する活動は、始めからスムーズに分けることができた。 形や色の違う色板を混ぜて分類する活動では、どちらに着目して分ければよいか迷うことがあった。教師と一緒に「まる、さんかく、しかく」などと声に出しながら分類していくことで、色と形のどちらに着目して分ければよいか理解して取り組むことができた。 身の回りのものを色や形に着目してなかま集めをする活動では、色カードや探している形の枠を持って探すようにした。指定された色や形に合わせて、教室にあるものを教師や友達と一緒に見つけて、分けることができた。 		



色板を、クリアBOXの蓋に付いている、色や形の要素に着目して分類していく。



持っている枠と同じ形を集める。